



はじめに

ヤマハ製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

- 製品を正しく安全にお使いいただくために、ご使用前に本書に記載された「安全上のご注意」を必ずお読みください。
- お読みになったあとは、保証書とともにいつでも見られるところに大切に保管してください。

A 製品、付属品、各部の名称

- ヘッドバンド
- ハウジング
- 3D キー
- 電源キー
- インジケーター
- 充電用端子
- ーキー
- 機能キー
- ＋キー
- マイク
- USB 給電ケーブル
- 外部入力端子
- ANC キー
- 3.5mm ステレオミニプラグケーブル
- 航空機用プラグアダプター
- スタートアップガイド
- ユーザーガイド (基本編) / 安全上のご注意 (本書)
- キャリングケース

準備

B 充電する

付属の USB 給電ケーブルでヘッドホンの充電用端子と市販の USB 電源アダプター (DC 5 V / 0.5 A 以上 対応) の USB 端子に接続します。

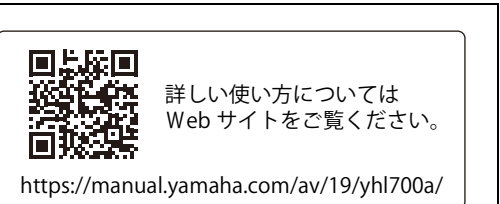
- 充電中はインジケーターが赤く点灯し、充電が完了すると消灯します。
- 充電は約 3.5 時間で完了します。1 回の充電で約 34 時間 (ADVANCED ANC 使用時)、約 11 時間 (ADVANCED ANC と 3D SOUND FIELD 使用時) の連続再生ができます。

C Bluetooth® 接続する

本機を初めて使う場合は、接続する Bluetooth 機器同士を認識させる操作 (ペアリング) をします。一度ペアリングをすれば、次回からは電源を入れると自動的に Bluetooth 機器に接続します。

■ペアリングする

- 電源キーを 5 秒以上長押しして、ペアリング待受け状態にする。
 - インジケーターが青と赤で交互に点滅します。
- 接続する Bluetooth 機器を操作して、Bluetooth 設定画面を表示する。



Manual Development Group
© 2020 Yamaha Corporation

2020 年 10 月発行 AMOD-A1

3. 表示画面から『Yamaha YH-L700A』を選択する。

- ペアリングが完了するとインジケーターが青く 20 秒間点灯します。
- ペアリング開始から 2 分経過すると、ペアリング失敗と判断し、インジケーターが消灯します。
- 再度ペアリングするときは、電源をオフにして手順 1 から操作してください。

■別の Bluetooth 機器とペアリングする / ペアリングをやり直す

電源をオフにして「■ペアリングする」の手順 1 から操作してください。

■電源を入れる／切る

- 電源キーを 2 秒間押すと電源のオン／オフができます。
- 電源をオンにするとインジケーターが赤く点滅してバッテリー残量をお知らせします。

基本操作

音楽を聴く

再生	機能キーを短く 1 回押す。
一時停止	再生中に機能キーを短く 1 回押す。
音量を上げる	＋キーを短く 1 回押す。
音量を下げる	ーキーを短く 1 回押す。
次の曲に進む	＋キーを 2 秒間押す。
曲の先頭 / 前の曲に戻る	ーキーを 2 秒間押す。
ADVANCED ANC (アドバンスド ANC) および AMBIENT SOUND の有効 / 無効	ANC キーを押す。
3D SOUND FIELD (3D サウンドフィールド) の有効 / 無効	3D キーを 2 秒間押す。
3D SOUND FIELD のモード切替 (3D Sound FIELD が有効の場合)	3D キーを短く押す。

※付属の 3.5mm ステレオミニプラグケーブルを接続して使うこともできます。

通話をする

電話を受ける	着信時に機能キーを短く 1 回押す。
電話を切る	通話中に機能キーを短く 1 回押す。
通話音量を上げる	＋キーを短く 1 回押す。
通話音量を下げる	ーキーを短く 1 回押す。
通話を拒否する	着信時に機能キーを 2 秒間押す。

仕様

Bluetooth バージョン	Version 5.0
対応プロファイル	A2DP、AVRCP、HFP、HSP
対応コーデック	SBC、AAC、Qualcomm® aptX™ Adaptive
対応コンテンツ保護	SCMS-T
無線出力	Class 2
最大通信距離	約 10 m (妨害の無い時)
登録可能機器数	最大 8 台
内蔵充電電池	リチウムイオン電池
充電時間	約 3.5 時間

連続再生時間	約 34 時間 (ADVANCED ANC 使用時) 約 11 時間 (ADVANCED ANC と 3D SOUND FIELD 使用時)
充電温度	5 ～ 40 ° C

お問い合わせ窓口

ヤマハ AV 製品の機能や取り扱いに関するお問い合わせ

■お客様コミュニケーションセンター オーディオ・ビジュアル機器ご相談窓口

ナビダイヤル (全国共通) **0570-011-808**

受付：月～金曜日 10:00 ～ 17:00
(土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)
固定電話は、全国市内通話料金でご利用いただけます。
通話料金は音声案内で確認できます。
上記の番号でつながらない場合は、以下の番号におかけください。

TEL (053) 460-3409
https://jp.yamaha.com/support/

ヤマハ AV 製品の修理、サービスパーツに関するお問い合わせ

■ヤマハ修理ご相談センター

ナビダイヤル (全国共通) **0570-012-808**

受付：月～金曜日 10:00 ～ 17:00
(土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)
固定電話は、全国市内通話料金でご利用いただけます。
通話料金は音声案内で確認できます。
上記の番号でつながらない場合は、以下の番号におかけください。

TEL (053) 460-4830
FAX でのお問い合わせ
北海道、東北、関東、甲信越、東海地域にお住まいの
お客様
(03) 5762-2125

北陸、近畿、中国、四国、九州、沖縄地域にお住まいの
お客様
(06) 6649-9340

修理品お持ち込み窓口
受付：月～金曜日 10:00 ～ 17:00
(土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)
* お電話は、ヤマハ修理ご相談センターでお受けします。

東日本サービスセンター
〒143-0006
東京都大田区平和島 2 丁目 1-1
京浜トラックターミナル内 14 号棟 A-5F
FAX (03) 5762-2125

西日本サービスセンター
〒556-0011
大阪市浪速区難波中 1 丁目 13-17 ナンバ辻本ビル 7F
FAX (06) 6649-9340
* 名称、住所、電話番号、URL などは変更になる場合があります。

保証とアフターサービス

サービスの依頼、お問い合わせは、お買い上げ店、またはヤマハ修理ご相談センターにご連絡ください。

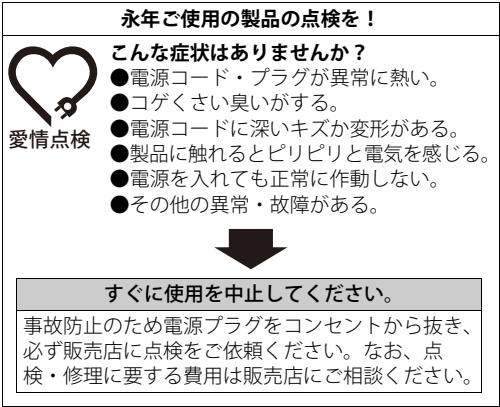
● **保証期間**
製品に添付されている保証書をご覧ください。

● **保証期間中の修理**
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

● **保証期間が過ぎているとき**
修理によって製品の機能が維持できる場合にはご要望により有料にて修理いたします。

● **補修用性能部品の最低保有期間**
補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後 6 年です。
ただし、故障の状況やその他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合があります。
※補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

● **修理のご依頼**
本書をもう一度お読みいただき、接続や設定などをご確認のうえ、お買い上げ店またはヤマハ修理ご相談センターまでご連絡ください。修理をご依頼いただくときは、製品名、モデル名などとあわせて、製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。
※このページは、安全にご使用いただくために AV 製品全般について記載しております。



Yamaha Global Site
https://www.yamaha.com/
Yamaha Downloads
https://download.yamaha.com/

安全上のご注意

ご使用前に、必ずよくお読みください。

必ずお守りください

ここに示した注意事項は、機器を安全に正しくご使用いただき、お客様やほかの方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

「警告」「注意」について

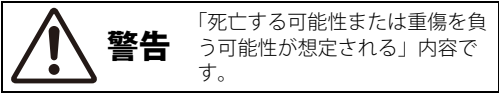
誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を区分して掲載しています。

記号表示について

この機器や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。



- 点検や修理は、必ずお買い上げの販売店またはヤマハ修理ご相談センターにご依頼ください。
- 不適切な使用や改造によりお客さまがけがをしたり機器が故障したりした場合の補償はいたしかねますので、ご了承ください。
- 本製品は一般家庭向けの製品です。生命や高額財産などを扱うような高度な信頼性を要求される用途に使用しないでください。



使用時の注意

- 自動車や自転車を運転中に使用しない。また、踏切や工事現場など、周囲の音を聞く必要のある場所では使用しない。事故の原因になります。

異常に気づいたら

- 下記のような異常が発生した場合、すぐに電源を切り使用を中止する。
 - 機器から異臭、異音や煙が出た場合
 - 機器の内部に異物や水が入った場合
 - 機器が異常に発熱した場合 (やけど、けがの恐れ)

● 機器に亀裂、破損がある場合
● 機器を落とした場合
そのまま使用続けると、感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの販売店またはヤマハ修理ご相談センターに点検や修理をご依頼ください。

充電

- USB 給電ケーブルは、必ず付属のものを使用する。火災、やけど、または故障の原因になります。

充電するときは、市販の USB 電源アダプター (DC 5 V / 0.5 A 以上 対応) の USB 端子に接続する。誤って接続すると、火災、感電、または故障の原因になります。
充電については、ユーザーガイド本編を参照してください。

本製品を充電するとき、使用する市販の USB AC アダプターは見える位置で、手が届く範囲のコンセントに接続する。
万一の場合、電源プラグを容易に引き抜くためです。電源を切った状態でも電源プラグをコンセントから抜かないかぎり電源から完全に遮断されません。

指定された充電温度内で充電する。
範囲外の温度での充電は、液漏れ、発熱、破裂、故障の原因になります。

- 付属の USB 給電ケーブルをほかの機器に使用しない。火災、やけど、または故障の原因になります。
- 充電中、使用中は毛布や衣類などを本機にかぶせない。

発熱や発火の原因になります。
この機器が濡れている状態では絶対に充電しない。感電や電子回路のショートなどによる火災や故障の原因になります。

USB 給電ケーブルが破損するようなことをしない。

- ストーブなどの熱器具に近づけない
- 無理に曲げたり、加工しない
- 傷つけない
- 重いものをのせない

芯線がむき出しのまま使用すると、感電や火災の原因になります。

分解禁止

- この機器を分解したり改造したりしない。火災、感電、けが、または故障の原因になります。

水に注意

- 浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところや水がかかるところで使用しない。内部に水などの液体が入ると、火災や感電、または故障の原因になります。

- ぬれた手でこの機器を扱わない。感電や故障の原因になります。

火に注意



この機器の近くで、火気を使用しない。
火災の原因になります。

取り扱い



この機器を落としたり、強い衝撃を与えたりしない。
感電や火災、または故障のおそれがあります。

ワイヤレス機器



電波の使用が制限された区域で使用しない。
この機器が発する電波により、医療用電気機器の動作に影響を与えるおそれがあります。
航空機の中などで使用する場合は、係員の指示に従って使用してください。

心臓ペースメーカーや除細動器の装着部分から 15 cm 以内で使用しない。
この機器が発する電波により、ペースメーカーや除細動器の動作に影響を与えるおそれがあります。

注意「傷害を負う可能性が想定される」内容です。

聴覚障害



大きな音量で長時間この機器を使用しない。
聴覚障害の原因になります。
80 dB(A) の音量で 40 時間 / 週、
89 dB(A) の音量で 5 時間 / 週を超えないようにしてください。異常を感じた場合は、医師にご相談ください。



接続する機器およびこの機器の音量を最小にしてから接続する。
聴覚障害、感電または機器の損傷の原因になることがあります。

取り扱い



接続された付属の USB 給電ケーブルやステレオミニプラグケーブルを引っ張らない。
接続されたケーブルを引っ張ると破損する原因になります。



イヤホンやヘッドホンがお肌に合わないときは**すぐにご使用を中止する。**
けがや病気の原因となることがあります。

充電電池

充電電池について

本機にはリチウムイオン電池が使用されています。リチウムイオン電池はリサイクルできます。お客様自身で電池を取り外すことはできませんので、本機が不要になりましたら、巻末の「ヤマハ AV 製品の修理、サービスパーツに関するお問合せ」に記載しておりますヤマハ修理ご相談センターにご依頼ください。

注意

製品の故障、損傷や誤動作、データの損失を防ぐため、お守りいただく内容です。

- ・直射日光のあたる場所やストーブの近くなど極端に温度が高くなるところ、逆に温度が極端に低いところ、また、ほこりや振動の多いところで使用や保管しないでください。この機器が変形したり、内部の部品が故障したり、動作が不安定になったりする原因になります。
- ・外部機器を接続する場合は、各機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。説明に従って正しく取り扱わない場合、故障の原因になります。
- ・接続機器からプラグを抜くときは、ケーブルを持たずに必ずプラグを持って引き抜いてください。ケーブルを強く引っ張ったり折り曲げたりすると、ケーブルが破損するおそれがあります。
- ・お手入れするときは、乾いた柔らかい布をご使用ください。ベンジンやシンナーなどの薬剤、洗剤、化学ぞうきんなどを使用すると、変色／変質する原因になります。
- ・時計、磁気カードなど磁気の影響を受けるものに近づけないでください。データを破損または破壊する原因になります。
- ・以下のことをしない。
 - この機器の上に乗る。
 - この機器の上に重いものを載せる。
 - ボタンやスイッチ、入出力端子などに無理な力を加える。けがをしたり、この機器が破損したりする原因になります。

お知らせ

イヤホンやヘッドホンから音が漏れて周囲の迷惑になりますので、公共の場では大きな音で使用しないでください。

無線機能に関するお知らせ

(Bluetooth)

2.4 FH4/XX6
■■■ ■■ ■■■

「2.4」：2.4 GHz 帯を使用する無線設備
「FH」：変調方式は周波数ホッピング
「4」：想定干渉距離が 40 m 以内
「XX」：変調方式はその他の方式
「6」：想定干渉距離が 60 m 以内
■■■ ■■ ■■■：全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能

無線に関するご注意

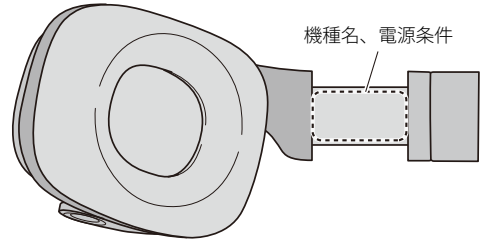
この製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- ・この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- ・万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、又は機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。

本機は、電波法に基づく認証を受けた無線機器を搭載しています。

本製品の銘板に関するお知らせ

本製品の機種名（品番）、電源条件などの情報は、下図の位置に貼付されているラベルで確認することができます。



ご使用に関するお知らせ

- ・空気が乾燥した場所では耳にピリピリと痛みを感じることがあります。これは人体や接続した機器に蓄積された静電気によるもので、ヘッドホンの故障ではありません。
- ・長期間充電をしないと電池の寿命が短くなることがあります。6 カ月に一度は本機を充電してください。
- ・電池の持続時間が極端に短くなった場合は、電池の寿命です。ヤマハ修理ご相談センターにお問い合わせください。

Bluetooth®

Bluetooth® ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc. が所有権を有します。
ヤマハ株式会社は使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。

Qualcomm® aptX® Adaptive

Qualcomm aptX は、Qualcomm Technologies, Inc. および / またはその子会社の製品です。
Qualcomm は、米国およびその他の国で登録された Qualcomm Incorporated の商標です。aptX は、米国およびその他の国で登録された Qualcomm Technologies International, Ltd. の商標です。

ヤマハ株式会社

〒 430-8650 静岡県浜松市中区中沢町 10-1